

里山整備利用地域の取組

制度の概要

1 里山整備利用地域とは

- ・ 地域住民をはじめとする皆さんが、主体的に里山の整備・利活用に取り組む地域を、市町村長の申出によって「長野県ふるさとの森林づくり条例」第26条により知事が認定するものです。
【現在91地域を認定】
- ・ 認定された地域では、地域住民等で組織される「里山整備利用推進地域協議会」が地域活動の推進主体となり、「長野県森林づくり県民税」による様々な支援策を活用することができます。

事業名	事業実施主体	補助率	事業内容
里山整備利用地域活動推進事業	里山整備利用推進協議会	10/10以内	里山の整備や利活用等の地域活動の支援
里山資源利活用推進事業	里山整備利用推進協議会	3/4以内	チェーンソーや薪割り機等の資機材の導入等への
里山整備利用地域リーダー育成事業	県	-	里山を管理・利用するための人材を育成
みんなで支える里山整備事業	市町村、森林組合、林業事業体、NPO法人 等	9/10以内	間伐等の森林整備、支障木の伐採、鳥獣被害対策としての感招待の整備
地域で進める里山集約化事業	地域協議会、自治会組織 等	定額	森林所有者からの同意取得 等



【地域協働の里山整備】



【森林環境教育】



【薪の生産】



【観光利用】

地域の概要

1 名称

安曇野市 明科清水里山整備利用地域 【認定日：令和元年10月23日】

2 面積

2.9 ha

3 活動を推進する主体

清水里山整備協議会 構成員 20名 (地域住民、NPO法人、林業事業体)

4 地域の状況

- ・ 地域面積の約80%を森林が占めており、コナラ・クヌギ・ケヤキといった広葉樹が多く、アカマツ・カラマツなどの針葉樹の他、集落周辺には、竹林が存在。
- ・ アカマツは、松くい虫被害により枯損しているものが多い状況。
- ・ かつて利用されていた広葉樹、竹林については、手入れが進まず荒廃が懸念されている状況。

5 整備及び利用の方針等

- ・ 【森林整備】
県宝「光久寺」や集落周辺の竹林整備、集落周辺の森林整備（搬出間伐等）を行い、森林の健全化を推進。
- ・ 【利用方針】
竹林整備により伐採した竹については、竹炭を製作し有効利用するとともに、コナラ、クヌギなどの伐採木については、しいたけの原木、薪として利用することを検討。

【令和2年度 みんなで
支える森林づくり県民会議】

清水地区における里山整備

2020年11月10日：清水地区作業道

清水里山整備協議会 会長

丸山 健太

自己紹介

新潟県 新潟市出身 38歳

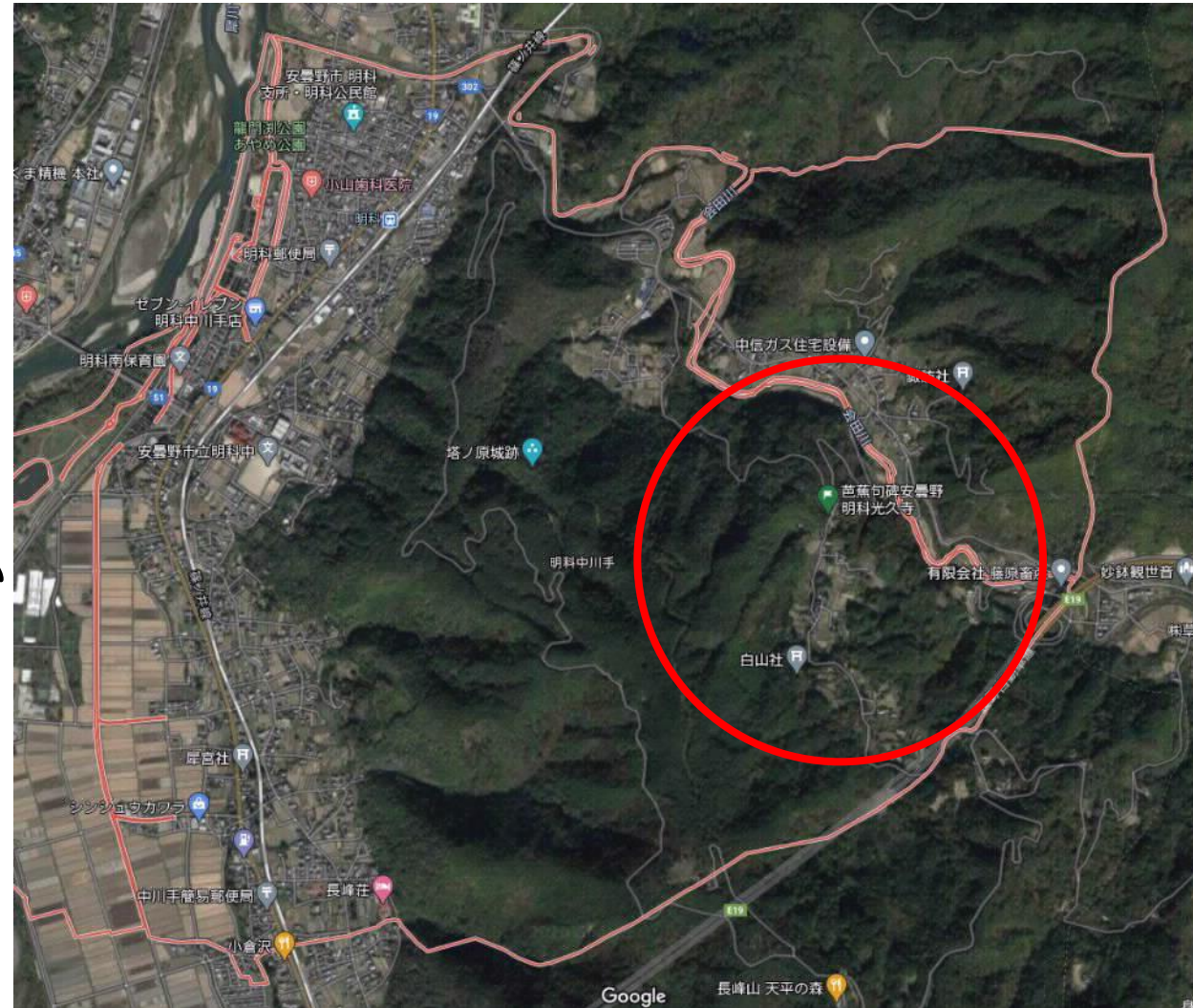
2005年～JA長野厚生連あづみ病院にて
医療ソーシャルワーカーとして勤務

2012年～

第一子が生まれるのをきっかけに
妻の実家(清水地区)で生活をはじめ

清水地区の紹介

- 世帯数 9 戸
- 人口 22 人
- 55 歳以上の人口が 50 パーセント



地区の状態：準限界集落

55歳以上の人口が集落人口の50%を超え、現在は集落の担い手が確保されているものの、近い将来、その確保が難しくなっている限界集落予備軍的存在になっている集落。夫婦のみ世帯と準老人(55歳～64歳まで)夫婦世帯が主。

大野晃,限界集落と地域再生,2008,信濃毎日新聞社

動き出したきっかけ

2018年4月1日

30代～40代 6人でお茶会

10年後、20年後ここに何人住んでるんだろう
……えっ、自分達だけ？

今からできるアイデアを話し合う



動き出したきっかけ

アイデアの一つに

- 荒れている山をきれいにする

『森倶楽部に相談してみましようか？』

- 森倶楽部とは

特定非営利法人 森倶楽部 21 のことで長峰山
を拠点に里山の自然に触れ、その地域の暮らし
に学ぶ活動をしている

森倶楽部 永田さんとの出会い

2018年8月21日

『清水の前を通るたびに
薬師堂に竹林が接近して
きて気になっていた』

11月～3月で月1回
竹林整備のご協力をいた
だけることになった



2018年11月11日

初回作業日



竹藪から竹を切って引っ張り出す



熱い指導のもと竹炭にする



雪にも負けず



長野県松本地域振興局 林務課 普及係 古澤さんとの出会い

2019年1月20日

森倶楽部からの紹介で
長野県森林税を活用する
協議会立ち上げにむけて
始動



清水主体で竹林整備を開始

2019年3月21日 風の神様
(藁の侍に厄をのっけて谷から
投げる行事)

4か月実施した森倶楽部との
作業は一区切

今後は清水だけで月1回
作業を継続していくことに



2019年6月29日

さとぶろ。学校を清水でと声がかかる



地元吉井さんの歴史のレクチャー



お昼はタケノコ汁の振る舞い

竹の生体、作業のレクチャーは森倶楽部



清水より人が多い…



『来月も清水で竹切りませんか？』

さとふる学校の参加者に
来月の作業も来ませんか？
とお誘い
バーベキューも付けるから！



2019年7月13日 里ふる 翌月 作業とバーベキューによる交流



2019年8月24日 清水里山整備協議会発足

発案者の30代～40代の3人が
会長・副会長・会計に

山仕事創造舎による
作業道着工へ

2020年1月8日スタート



2020年3月20日 作業道完成見学会



2020年5月31日
作業道の伐採された木の活用

伐採された木を運び出して
キノコのコマ打ちを行った

2周年記念のお汁に入れること
ができるのか？



作業道を活用した新たな取り組み

2020年8月1日 チェンソー安全講習と薪づくり

薪ストーブの新居を構える

若夫婦へ清水が誇る藤田プロ
によるチェンソーの講義と

実際に伐採木を玉切りにする
実技を学んだ



でもそれだけじゃなくて
人が集まって交流が生まれた



清水の取り組みプロセス

STEP 1 : 立ち上げ期

STEP 2 : 活動展開期

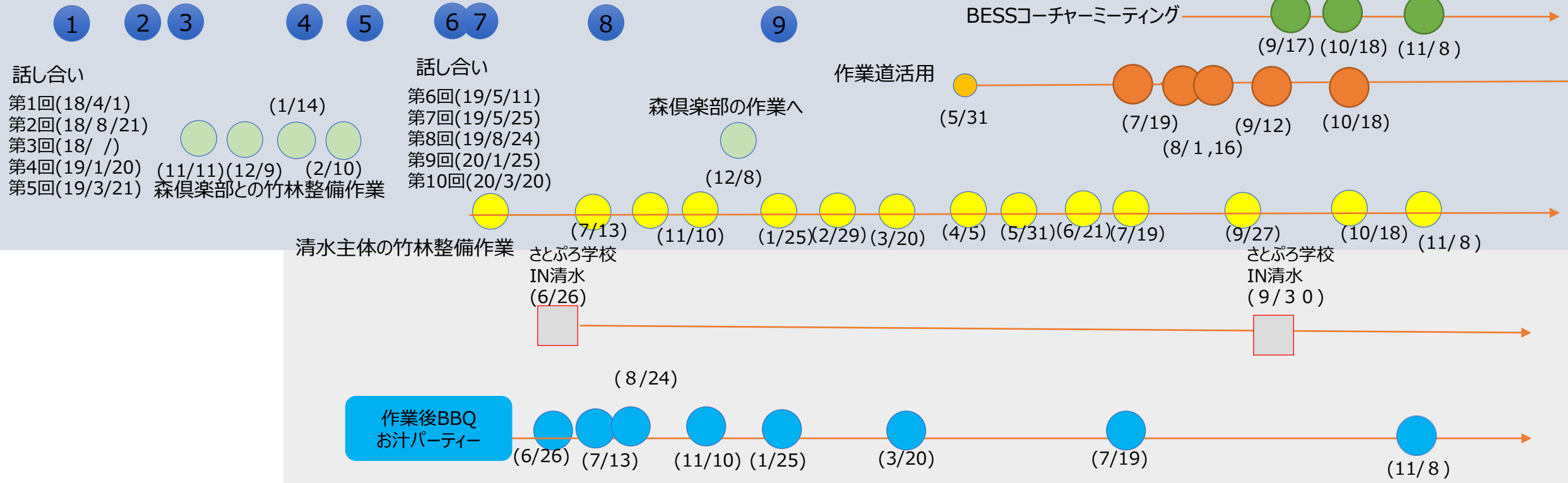
-2018年度

2019年度

2020年度-

清水里山整備協議会設立
(19/8/24)

BESS 薪部
構想



令和元年度 みんなで支える里山整備事業
安曇野市清水地区 搬出間伐

